

令和元年度（第3四半期まで）のごみ処理実績と今後の見込みについて

1 ごみ排出量（H30年度第3四半期までとの比較）

区分	H30年度実績 A	R01年度実績 B	対前年増減(B-A)	増減率
焼却ごみ	83,861 t	85,157 t	1,296 t	1.5 %
収集	55,251 t	56,991 t	1,740 t	3.1 %
搬入	28,610 t	28,165 t	△445 t	△1.5 %
埋立ごみ	1,102 t	1,690 t	588 t	53.4 %
収集	927 t	923 t	△4 t	△0.4 %
搬入	175 t	767 t	592 t	338.3 %
資源ごみ	7,567 t	7,220 t	△347 t	△4.6 %
収集	7,224 t	6,889 t	△335 t	△4.6 %
搬入	343 t	331 t	△12 t	△3.5 %
古紙類	5,652 t	4,993 t	△659 t	△11.7 %
総排出量	98,182 t	99,060 t	878 t	0.9 %
収集	63,402 t	64,803 t	1,401 t	2.2 %
搬入	29,128 t	29,264 t	136 t	0.5 %
古紙類	5,652 t	4,993 t	△659 t	△11.7 %

- ・ 総排出量は、H30年度実績と比較して878トン（0.9%）増加しています。
 [収集ごみ] 人口減少及び各種ごみ減量施策等により排出量が減少傾向で推移していましたが（上半期）、令和元年度東日本台風等の影響により、可燃ごみの排出量が大きく増加し、前年度比増となっています。ごみ排出量は11月以降収束傾向であり、分別の徹底、3Rの推進等により、引き続き減量化に努めます。
 [搬入ごみ] 事業者への減量指導や搬入物検査等により、事業系一般廃棄物等は減少傾向ですが、H30年度より、「いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動」における側溝清掃（側溝堆積物の撤去）を開始したことから、側溝土砂等の搬入が加わり、前年度比増となっています。

2 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画一部改定版に掲げる目標の状況（見込み）

指標 (H26年度実績値)	H30年度 実績	R01年度 推計	増減	R02年度 目標
1人1日あたりのごみ排出量 (1,067 g/人・日)	1,002	1,017	+15	950
焼却ごみ量 (112,128 t/年)	106,571	107,866	+1,295	95,000
埋立処分量 (7,154 t/年)	2,655	3,010	+355	5,000
リサイクル率 (18.7 %)	22.4	22.2	△0.2	24.0 以上

- ※ R01年度推計は、1月～3月を前年実績同等として算出しています。
- ※ 台風災害に伴う災害廃棄物処理事業におけるごみ量は含めていません。
- ※ 全ての指標において悪化する見込みです。